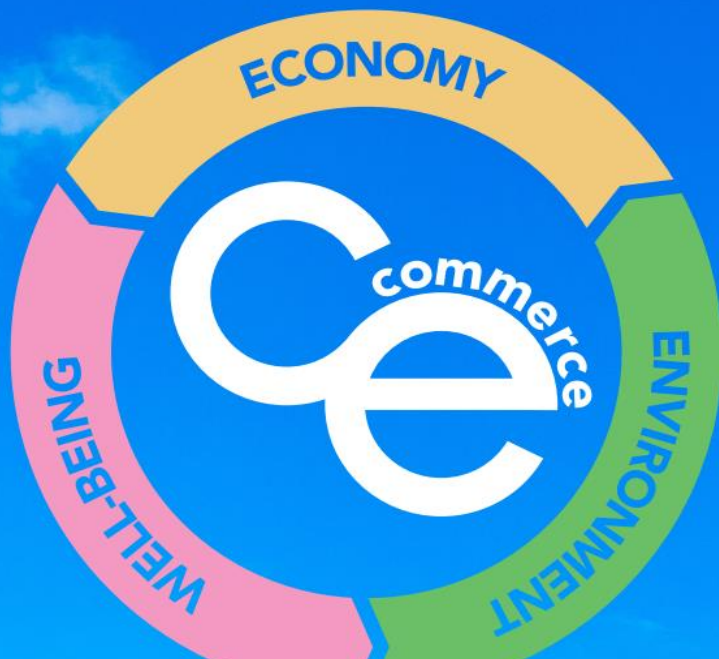
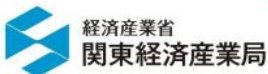


地域の課題解決をサポートする

CEコマースガイドブック



— 資源循環で地域課題解決をするには、
何から始め、どう連携するかが分かる実践ガイド —



- ✓ CEコマースについてもっと理解を深めたい方
- ✓ 資源循環で地域の課題解決をしたい自治体の方
- ✓ 自治体との連携方法を考えている事業者の方

CEコマースとは？

- ①物品の稼働率を高める（シェアリング・サブスクなど）
Ex)家具・家電・住宅を「買わずに使う」選択肢を住民に提供
 - ②物品の利用期間を延ばす（リユース・二次流通仲介など）
Ex)粗大ごみになる前に「再利用に回す」仕組みをつくる
 - ③物品の寿命を延ばす（リペア・アップサイクルなど）
Ex)粗大ごみになる前に「再利用に回す」仕組みをつくる
- このような手法を用いてCEに貢献するビジネスを指します

※CE…サーキュラーエコノミー/Circular Economy（循環経済）の略

✓ 詳しくは裏面

問い合わせ先

関東経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課

TEL 048-600-0292

詳細はこちら→



本ガイドブックの特徴

Q ガイドブックの主な構成

- CEコマースとは何か
- どのCEコマースを推進すべきか
- CEコマース事業者との連携方法7パターン
- CEコマース事業者の事例紹介

< 掲載内容例 >

担当 相模 自分の地域ではどのCEコマースを推進すべき？

第一章でご紹介した5つのCEコマースモデルは、地域や住民の特徴に応じて適性が異なり、特に地域の世帯構成や引越し頻度、自治体の粗大ごみ回収制度によって大きく変わります。

CEコマースモデル	相性の良い地域/住民の傾向 ※CEコマース事業者へのヒアリングや学術論文などに基づく	理由
1 暮らし支援シェアリング	引越し頻度が高い(特に1-5年に一度のペース) 所得が比較的高い 単身世帯が多い	モノの買い替えが多く、 短期間での利用ニーズが高い
2 自治体回収型	クリーンセンターとの連携が可能 住民の分別ガイドライン順守が徹底している (回収品目数が多いなど)	自治体(委託先の回収業者)が回収後、 再利用に回すモノの選別がしやすい
3 住民参加型	自治体の廃棄物回収頻度が低い 人口が集中する拠点がある地域 (住民の多くが利用する駅やスーパーなど)	生活の動線が決まっっていて、 利便性や快適さの観点で需要が高い
4 地域人材活用リペア	引越し頻度が低い ファミリー層や高齢者が多い 修理・メンテナンスに関わる人材が多い	買い替えのニーズが低く、モノを長く 使う文化が浸透しやすい。 また、地場産業を活かすことができる
5 未利用資源アップサイクル	地域のビジョンやブランディング方針が明確、 または解決したい課題が明確である	地域特有の商品開発により、 買い手に魅力を感じてもらいやすい

▶ 詳細はAppendix参照

担当 文京 CEコマース事業者との連携方法7パターン

自治体とCEコマース事業者の連携方法を主に7つのパターンと3つのタイプ
(CONTRIBUTE、CHANGE、COLLABORATE)に分類しています。

	連携の方向性		自治体のアクション	連携の具体例
CONTRIBUTE 自主的な参加・貢献	1	自治体の率先行動	公共調達を実施し、CE製品の利用を積極的に進める	例:日用品や耐久品のシェアリング 職員のリユース容器利用やイベント時の シェアリング製品利用、など
	CHANGE 住民の巻き込み	2	環境負荷の高い 選択肢の規制強化	環境負荷素材/製品の利用に規制をかけ、 環境製品利用を促す
3		廃棄物の利便性向上	自治体回収以外にも、利便性の高い 廃棄の選択肢を提供する	例:住民参加型リユース 廃棄の選択肢の一つとして、二次流通事業者が家庭 から出るリユース可能な不用品を回収する、など
4		CEの考え方・ 選択肢の啓蒙	イベントや広報活動を通じてCEの 重要性や効果を啓蒙する	例:地域人材活用リペア ごみ案内などにリペアの選択肢を掲載し、 捨てる以外のオプションを周知する、など
COLLABORATE 事業者同士の連携促進	5	静脈オペレーションの 効率化・高度化	廃棄物の中から再利用に回せる資源の ピックアップを促進する	例:自治体回収品リユース クリーンセンターに集まる廃棄物を高度選別し、 二次流通事業者が回収する、など
	6	未利用資源の活用	遊休施設・資源を洗い出し、 CEコマース事業者へ提供する	例:未利用資源アップサイクル また使える地域内の素材/製品を再加工し、 地域のブランド品へと再生する、など
	7	地場産業との シナジー創出	地域内の企業・団体同士の 連携を促進させる	例:住宅のシェアリング 地域のコミュニティと連携してシェア住宅滞在者 向けに生産活動体験を提供する、など

▶ 各連携方法で描ける地域のビジョンはP.23を参照